秦野市行財政調査会 組織構成

秦野市行財政調査会

行財政経営 専門部会

「秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（秦野市総合計画後期基本計画リーディングプロジェクト）」の外部評価等を行います。
また、今後の人口減少・少子高齢社会における行財政経営の在り方等に関する審議を行います。
行革推進専門部会及び行財政最適化支援専門部会からの提言、意見等を今後の行財政運営に反映させるに当たり、多軸的な観点から総合的な取組みを提言するとともに、この部会からの提言等を他の２部会の取組み事項に反映させていきます。

行革推進 専門部会

「第３次はだの行革推進プラン実行計画」の進行管理、評価等を行います。
第３次はだの行革推進プラン実行計画は、時勢に応じた行財政の最適化を図るため、新たな項目の追加や時勢に適さない項目の廃止など、毎年度見直しを図りながら進める方針であり、「行財政経営専門部会」からの中長期的・多軸的な取組みに係る提言も取り入れながら、最適化を図るものとします。
さらに、「行財政最適化支援専門部会」からの最適化支援に係る提言、意見等に基づき、具体的な実行項目について第３次行革推進プラン実行計画に反映させ、進行管理を行うものとします。

部会相互の意見を反映させ、戦略的な行財政経営体制を構築

行財政最適化支援 専門部会

従来の「行政評価」の施策・事務事業支援に係る機能を強化し、「総合計画」や「行革推進プラン実行計画」における具体的な取組事項や関連する行政課題について、外部の視点から発展・最適化させるための支援を行います。
この部会からの提言、意見等は、必要に応じて行革推進プラン実行計画への反映のほか、行財政経営専門部会における審議に反映させるものとします。

【現状の問題点・課題等とその対応】

□人口減少や少子高齢社会に向けた秦野市の行財政経営の在り方を検討する外部組織がない。
⇒行財政調査会が平成２８年度で任期が終了することに伴い、新たに「行財政経営専門部会」を設置し、人口減少や少子高齢社会における行財政運営の在り方等について専門的見地から意見・提言を行う組織と位置付けます。

□総合計画や、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理を行う外部組織がない。
⇒行財政調査会を総合計画や総合戦略の進行管理を行う組織として位置付けます。

□目標管理型の組織となっていない。
⇒行財政調査会からの提言、意見等を基に、組織・執行体制や、予算編成・人事評価を相互に関連付けをし、目標管理型組織の構築を目指すための取組みを進めます。

□「行財政改革」では、コスト削減のイメージが先行しがちであり、秦野市の行財政に係る現状を考えると、現行の手法では限界に近づいている。
⇒これからは「無駄を省く視点・コスト削減」だけでなく、選択と集中、行政サービスをどのように変化させるかといった「行政サービスの最適化」の視点が必要となります。特に本市のように経営資源が乏しい自治体では、少ない経営資源を効率的かつ集中して投入することが必要です。これに伴い、「行政評価」を「行財政最適化支援」へ発展・移行させ、３部会の中で相互に関連性を持たせ、戦略的な行財政経営体制を構築していきます。